

# 2022年立命館大学 学生研究会活動報告ポスター

## 立命館朝鮮近現代 史研究会

文学研究科 4回生QUANT TAIJIE

### 研究会の目的

本研究会は、立命館大学における朝鮮近現代史研究の深化および研究発信、研究者同士の交流、共同研究、対外的な研究交流などを目的とする。特に朝鮮近現代史研究にかかわるアカデミックスキルの習得に力を入れる。

### 研究活動①

時間：2022年7月20日

テーマ：高知県における朝鮮人強制動員についての事前勉強会

内容：

- ①高知県における朝鮮人動員の全体像についての報告
- ②加枝発電所、津賀ダムなどについての事前調査
- ③高知県の地図についての調査
- ④全体のスケジュールの確定と施設予約など

### 研究活動②

時間：2022年8月2日

テーマ：高知県における朝鮮人強制動員についてのフィールドワーク

内容：高知県における朝鮮人強制動員産業遺跡を巡って（加枝発電所、津賀ダム）高知県における朝鮮人強制動員の歴史に対する学びを深めた。また、高知市内にある平和資料館・草の家に訪問して、館長の主催で交流会を行った。

### 研究活動③

時間：2023年2月8日

テーマ：植民地朝鮮における「植民地近代論」について

内容：漢陽大学比較歴史文化研究所教授の尹海東先生を招待して、植民地朝鮮における「植民地近代論」についてをテーマに、討論と研究交流を行った。

### 研究成果

- ・金熙奎「朝鮮王公族についての研究動向の考察」
- ・小川拓郎「親日派研究の現状と課題」  
（『延世大学未来キャンパス・国語文学科 日本国際学術交流』2023年2月1日）
- ・LEE SEUNGHYUN「総動員体制下における朝鮮総督府の軍事援護政策」（修士論文）



平和資料館・草の家

尹海東先生と研究討論

